

コミュニティ・スクール新聞

発行所 藤枝
中学校区
学校運営協
議会 事務局

コミュニティ・スクール研修会

9月15日(金)、令和5年度藤枝市コミュニティ・スクール研修会

が葉梨地区交流センターを会場に開催されました。『本市がめざす小中一貫教育、コミュニティ・スクールについて』小中一貫教育コーディネーター、コミュニティ・スクールディレクターの役割について教育政策課から説明を受けました。また、『学校と地域をつなぐコミュニティ・スクール』という演題で常葉大学特任教授の堀井啓幸教授に講演していただきました。この研修会に参加した小中一貫教育コーディネーターやコミュニティ・スクールディレクターの方々の熱心な議論が繰り広げられました。なお、研修会の冒頭に

は、教育長みずからが駆けつけ、日頃の活発な活動に対するお礼の言葉がありました。



根付きつつある挨拶運動

令和3年10月から始まった『にこにこあいさつ運動』が今月で丸2年を迎えました。毎月25日を基本に52箇所、260本ののぼり旗を立て実施されるこの運動は、地域の方々の支えにより毎月の風物詩となりました。自治会長や町内会長な

どの方々への入れ替わりのある中で、今までの挨拶運動の充実には、多大のご努力とご尽力がありました。『地域の子は地域で守り育てよう』の自治会連合会の横断幕の良き実践例と言えるのではないのでしょうか。



努力の積み重ねによる大祭り

10月6日(金)から3日間の藤枝大祭り。この祭りの成功のために様々な人々が様々な場所での努力を続けていました。9月25日には大祭り青年団の方とコミュニティ・スクールディレクターが静岡産業大学に向き、登校してくる学生さんたちにピラを配りながら、大祭りについてのアピールを実施しました。



藤枝中学校合唱発表会

合唱発表会

藤枝市立藤枝中学校
藤枝市民会館

9月28日(木)、藤枝市民会館を会場に藤枝中学校合唱発表会が実施されました。今年の発表会のテーマ『声のひびきあい』それは『心のひびきあい』の下、3学年の生徒が素晴らしい歌声を披露していました。歌おう実行委員会の生徒が中心となり生徒の手により進められた発表会、それを温かくサポートする教職員の方々の姿は、藤枝中学校の誇れる伝統といえるものでしょう。尚、発表会の様子はライブ配信され、会場に来ることが出来なかった保護者の方々も、成長した子どもたちの姿を目の当たりにすることができました。



全校合唱『校歌』

なぜ、駿府

江戸に徳川幕府を開いた家康は、將軍職を息子秀忠に譲り、1605年、自らは駿府に築城し拠点にしました。小田原や岡崎でも良かったのではないのでしょうか?なぜ、家康は駿府を選んだのでしょうか?実は、この疑問を解く鍵になる資料が残されています。生前の家康と増上寺の和尚とのやりとりを記録した

コラム

『廓山和尚供奉記』というものです。この中で家康は、駿府を選んだ理由を5つ挙げています。その1番目に挙げられている理由は、幼少期に駿府に居住し、故郷のように感じ、忘れがたいというものだった。幼少期に見聞したものを、成長した自分が見る事は愉快だとも述べています。